

令和3年10月16日



七郷幼稚園 担当：本郷 恵実

秋空が気持ちよく澄み渡る好季節となりました。

10月2日のきいんくらぶでは、初めて保護者様と離れた活動となりました。寂しいときには「ママのところに行きたいよ!」、楽しいときには「先生一緒に遊ぼう!」と、一人一人がしっかりと教師に思いを伝えながら過ごすことが出来ました。説明会を終え、入園・初めての集団生活等、分からないことや慣れないことへの不安があると思います。いつでもご相談を受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせください。



## ～ 甘やかす、甘えさせる・・・違いを知って自立心を育てよう ～

『甘やかす』は多くの場合、物理的・金銭的な要求に応えてあげるといったことを指します。おもちゃやお菓子が欲しいと言ったときにすぐに買い与えてしまうのは、甘やかす行為といえるでしょう。本当は自分でできる着替えや片付けを親の都合でやってしまう「先回り」も、子どもの視点から見たら「甘やかされている」こととなります。対して『甘えさせる』は、気持ちの面での要求に応えてあげると指します。

「抱っこして」「ねえ、聞いて」という気持ちを受け止めて、スキンシップをしたり話を聞いてあげたりすることです。ただ、この違いはあくまで一例であり、はっきり分けて考えられるものではありません。大事なのは、「保護者の方が子どものことを思ってその行動に出ているかどうか」そして、「子どもの心が本当に満たされているかどうか」です。

一般に『甘え』という言葉は、よくない意味で使われることが多いでしょう。しかし、本来子どもの健全な成長のためには適度な甘えは欠かせません。子どもの甘えは、親の愛情を確かめる行為といえます。スキンシップを求めたり、「見てみて!」と自分に目を向けさせたり…時にはわがままを言って保護者の方を困らせることもあるでしょう。子どもはそうした言動が受け入れられることで、「自分は愛されている」と安心します。それを繰り返すことで徐々に自分に自信を持てるようになり、自立心が高まっていくのです。

『甘やかす』は絶対NGということではありませんが、子どもの自立には、様々な経験が必要です。過度に甘やかす行為は、その行為を奪ってしまう可能性があります。「靴を履く」「ボタンを留める」等も、自分で何度も経験したからできるようになるもの。また、「ぶつかってしまったときに友達に謝る」「忘れ物をしたときに先生に知らせる」も、失敗や経験の積み重ねでできるようになることです。経験しないままでは、たとえ大人になってもできるようにはなりません。

子どもの経験の為に…と全てを見守る時間と余裕が無いのが当然だと思います。甘やかすと甘えさせるの違いを知って、子どもに愛情を持って接し、自立と成長を促すための参考になったら幸いです。

<参照：ベネッセ教育情報サイト>



# 11月の予定



## 11月20日(土) 「トミック」～ 音楽に合わせて～

音楽に合わせて表現したり、身体を動かしたりして楽しみましょーう!

☆11月生の誕生会をします。



### <登降園時間>

#### くま組①・② そう組①・②

○登園 ⇒ 9:00~9:10

○降園 ⇒ 10:00

#### うさぎ組①・② ひよこ組①・②

○登園 ⇒ 10:30~10:40

○降園 ⇒ 11:30

### <持ち物>

- ・おたより帳 ・上靴(親・子) ・水筒(親・子) ・ハンカチ ・うがい用コップ
- ・マスク ・汚れた際の着替え ・羽織り物等(常時換気をしている為、寒さが予想されます。)



☆ 運動遊び ☆

おもいで・9月



言葉と感情を育むのに、絵本の読み聞かせはとても効果的! 2歳児の子ども達が楽しめる絵本を紹介します。

『 もりのおふろ屋さん 』

作・絵: とよた かずひこ

出版社: ひさかたチャイルド

森にわいたお風呂にシカの親子が入っていると・・・岩の向こうから誰かの声が聞こえてきました。そこには小さなお風呂があって、クマのお母さんが赤ちゃんをお湯に入れていたのです。ぽかぽか温かな気持ちになる寒いこの季節にぴったりな本です。

